

令和7年度 熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科  
学校推薦型選抜 総合問題 解答例

問題 1

問 1 (A)

問 2 (1) (B)

(2) (B)

(3) (C)

問 3 ほとんどの成人は一晩に 7～9 時間の睡眠を必要とするが、自分に必要な睡眠時間を把握するには時間がかかる。

問題 2

問 1 (イ)

問 2 (解答例)

共通点：同じ相関関係がみられ、両親の所得が高いほど子供が発明家になる確率が大幅に高まる。高所得家庭が子どもたちにより良い教育資源、学習機会、そしてイノベーションに必要なサポートを提供できるためである。

相違点：アメリカは所得上位層で両親の所得と子供が発明家になる確率の相関関係がより強い傾向が見られる。また、フィンランドでは両親の所得による差がアメリカほど特許出願数に強く影響しない可能性がある。理由アメリカはフィンランドに比べて経済的不平等が大きく、これが所得階層による特許出願の機会の格差をさらに拡大している。また、フィンランドはアメリカよりも包括的な福祉制度を持っており、教育や健康サービスへのアクセスが一般的に平等である。

理 由：アメリカでは、両親の収得はイノベーションを生み出すような学力や興味の方向性などの形で幼少期の子供の能力に影響を与える。両親の所得高ければ、発明家になる道のさまざまな障害物を乗り越えやすい。高所得者はリスクを取る能力、教育へのアクセス、専門的なネットワークへのアクセスが高いため、イノベーションを生み出す可能性が高くなる。フィンランドはアメリカと比べると、教育制度福祉制度は極めて優れているうえで平等でもあるが、教育に関わるや上昇志向といった要因が顕著になる。所得の多い両親は教育水準が高い傾向がある、知識移転、知的な好奇心や上昇志向も受け継がれる。家庭環境の影響が子供の発明家になる確率を押し上げる。(300 字)

問題 3

- 問 1 ①えんすい  
②はんえい  
③きょうい  
④純粹  
⑤こつぜん  
⑥特徴

問 2 (ア)

問 3 (イ)

問 4 (解答例)

筆者は市場メカニズムが困難な環境下でどのように自発的に形成され、適応するかを説明している。ハノイの「カエル市場」やルワンダの難民キャンプや捕虜収容所で市場の自発的に形成する能力、マコラ市場で法体系を発展させた例、eBay 市場が技術進化に対応する様子を通じ、市場が外部の圧力や逆境に柔軟に対応し、持続可能な方法で機能する強い能力を持っていることを示している。(175 字)